

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :06豊かな自然を保全・活用するまちをつくります

- 施策 :01森里川湖を活用した次世代の育成

事務事業名  
森里川湖次世代育成事業

指標名	自然と関わる人の割合	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	125	
指標の目標値	50.7%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	森と水政策課	
関係法令 市条例等	八日市いきものふれあいの里条例及び施行規則、にぎわい里山づくり条例及び施行規則、東近江市布引の森条例及び施行規則、緑の募金による森林整備等の推進に関する法律、緑の少年団育成強化事業助成金交付要綱、自然環境及び生物多様性の保全に関する条例及び施行規則			東近江市環境基本計画	関連計画	作成者	丸橋 裕一	
事務事業概要	森里川湖の豊かな地域資源を保全・活用することを通じて、人と人、人と自然のつながりを醸成し、子どもをはじめとした次世代を担う市民の育ちを豊かにします。					予算	会計名	一般会計
						大事業コード	030000	
						款項目	020113	

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度		
	1 河辺いきものの森等の保全と活用 ・河辺いきものの森及び布引の森において、森林環境学習「やまのこ」など子ども等の環境教育の実施や自然体験の機会を提供 2 河辺いきものの森等施設の維持管理 ・河辺いきものの森、河辺の森駅、布引の森の維持管理 3 森に人が集まる場所づくり事業（里山保育） ・認定こども園等の近くの里山等で四季を通じて園児を連れて自然体験（15園で実施） Plan 1 (実績) Do 2 4 にぎわい里山づくり事業 ・里山保全活動を行う団体を「にぎわい里山づくり団体」と認定し活動を支援する交付金を交付 5 緑化の推進等 ・婚姻届・出生届を出された方に記念樹「あゆみの樹」をプレゼント ・自治会・個人・事業所に花いっぱい運動等による緑化の推進 ・保護樹木・保護樹木の指定 6 森里川湖体験事業 ・森里川湖3DAYキャンプ等の実施（9日間）	49.4%	A	50.0%	A	50.7%	A	50.7%	
指標の年度目標値	49.4%		50.0%		50.7%		50.7%		
事業の優先度	A		A		A		A		
事業の財源	決算額 46,021千円	国庫支出金	1,345千円	予算額 50,704千円	国庫支出金	0千円	国庫支出金	7,491千円	
		県支出金	7,478千円		県支出金	7,491千円		市債	0千円
		市債	0千円		市債	0千円		その他	30,909千円
		その他	27,223千円		その他	30,909千円		一般財源	12,304千円
		一般財源	9,975千円		一般財源	12,304千円			
職員数/人件費	正 4.7人	会計任 2.76人	39,447千円	正 4.76人	会計任 2.76人	38,800千円			

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 | 令和06年度の改善の取り組み | 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	60.8%	Action 4	令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分			
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 河辺いきものの森での団体利用（やまのこ森林環境学習、モリイコ、学校等）を例年どおり受け入れることができた。 布引の森は4月27日に開園し環境教育の場として団体受入や里山をいかしたプログラムを実施した。里山保育は市民団体との協働で15園対象に実施することができ、市民団体から指導者を育成することもできた。今後も実施園の拡大と事業継続のために、指導者の育成が必要である。森里川湖体験事業は、本市の小学生に対して、豊かな自然や地域資源をいかした多様な体験の場を提供した。		<改善内容> 河辺いきものの森の林冠トレイル大規模修繕について検討を進める。 布引の森は、河辺いきものの森と連携を図りながら、環境教育や里山の魅力を伝えるプログラムを展開していく。 里山保育は、さらに実施園を増やすため、市民団体と協働し指導者を着実に育成する。また、身近な自然とその活用を学ぶことで、本市の資源である自然環境の保全と活用を実践する市民を増やす。森里川湖体験事業は、本市の小学生に対し、豊かな自然や地域資源をいかした多様な体験を提供する。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
	現状維持	財源	令和7年度以降 里山保育実施園の拡大による事業費の増				
	見直しして継続	拡大 ○	令和8年度 河辺いきものの森林冠トレイルの修繕に伴う事業費の増				
	拡大 ○	現状					
	縮小	削減					
	事業統合 手段見直し	人員					
休止・廃止	拡大						
完了	現状 ○						
	削減						

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :01循環共生型まちづくりの推進

事務事業名  
循環共生型まちづくり推進事業

指標名	自然環境・環境保全に対する満足度	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	8055
指標の目標値	30.0%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	森と水政策課
関係法令 市条例等	東近江市民の豊かな環境と風土づくり条例（環境基本条例）			関連計画	東近江市環境基本計画、東近江市地域福祉計画		
事務事業概要	本市の豊かな自然や環境、生物の多様性などを保全し、それを継承していくため、環境基本条例、第2次東近江市環境基本計画に基づいて施策を進めます。また、各種協議会等への参加により、情報を収集し、関係市町や団体との連携や協働による啓発活動を行い、市民の環境意識の向上を目指します。				作成者	丸橋 裕一	
					予算	会計名	一般会計
						大事業コード	040000
						款項目	020113

令和05年度 事務事業実績 / 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	1 環境審議会の開催 R5. 10. 3  2 第2次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会の開催 1回R5. 7. 24、2回R5. 9. 20、3回R6. 2. 21  3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト モニター83人、8事業所、11公共施設 ・ライトダウンキャンペーン R5. 6. 21、R5. 7. 7 夏休み子どもエコクラブ R5. 8. 3 参加25人 ・E C Oまつり R5. 11. 3 ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 R5. 10. 23 参加18人 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動) 23園 764人 ・小2エコクラブ (市内小学校への環境啓発活動) 8校 333人  4 各種協議会等への参画 ・滋賀グリーン活動ネットワーク ・鈴鹿国定公園協会	1 環境審議会の開催 ・第3次環境基本計画策定  2 第2次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会、環境円卓会議の開催  3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト ・ライトダウンキャンペーン ・夏休み子どもエコクラブ ・E C Oまつり ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動) ・小2エコクラブ (市内小学校への環境啓発活動)  4 各種協議会等への参画 ・滋賀グリーン活動ネットワーク ・鈴鹿国定公園協会	1 環境審議会の開催 ・第3次環境基本計画策定  2 第2次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会  3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト ・ライトダウンキャンペーン ・夏休み子どもエコクラブ ・E C Oまつり ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動) ・小2エコクラブ (市内小学校への環境啓発活動)  4 各種協議会等への参画 ・滋賀グリーン活動ネットワーク ・鈴鹿国定公園協会	1 環境審議会の開催  2 第3次環境基本計画の推進 ・環境円卓会議運営委員会、環境円卓会議の開催  3 資源循環型社会づくりの推進 (さわやか環境づくり協議会への委託) ・緑のカーテンプロジェクト ・ライトダウンキャンペーン ・夏休み子どもエコクラブ ・E C Oまつり ・買い物袋持参啓発 ・環境施設研修 ・環境キャラバン隊(市内幼稚園等への環境啓発活動) ・小2エコクラブ (市内小学校への環境啓発活動)  4 各種協議会等への参画 ・滋賀グリーン活動ネットワーク ・鈴鹿国定公園協会
指標の年度目標値	28.0%	29.5%	30.0%	30.5%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	1,348千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	300千円	
		市債	0千円	
		その他	0千円	
一般財源	1,048千円	7,237千円		
職員数/人件費	正 1.48人 会計任 0人 9,496千円	正 1.63人 会計任 0人 11,064千円		

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	29.6%	令和06年度の改善の取り組み	Action 4	令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分	
事務事業の改善内容	Check 3	<成果・課題> 環境審議会及び環境円卓会議運営委員会において、第3次環境基本計画の策定も見据えて地域の課題を共有・検討した。 さわやか環境づくり協議会では、新たな会員も参加し、イベントを行い啓発することができた。会員勧誘のためコミセンを訪問し説明を行い、協議会事業への理解を広げた。	<改善内容> 第3次環境基本計画の策定を行うため、環境円卓会議運営委員会を開催し、市民活動の動機づくりや市民が豊かさを実感できる啓発方法について検討する。 さわやか環境づくり協議会の活動や参画について新たな会員の勧誘を継続して行い、広く活動を周知する。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容 令和7年度以降 第3次環境基本計画策定の進捗に伴う事業費の減
				現状維持	財源 拡大 現状 削減 人員 拡大 現状 削減	
				見直して継続		
				拡大		
				縮小		
事業統合 手段見直						
休止・廃止						
完了						

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :01循環共生型まちづくりの推進

事務事業名  
**生物多様性保全再生事業**

指標名	自然環境・環境保全に対する満足度	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	8067
指標の目標値	30.0%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	森と水政策課
関係法令 市条例等	東近江市民の豊かな環境と風土づくり条例（環境基本条例）、東近江市自然環境及び生物多様性の保全に関する条例		関連計画	東近江市環境基本計画		作成者	丸橋 裕一
事務事業概要	市民や各種団体と協働して、生活環境、自然環境や歴史・文化的環境を保全するための事業を実施し、市民の環境に対する意識を向上するための啓発を行い、快適で住みよい環境を創出します。			予算	会計名	一般会計	
				大事業コード	050000	款項目	020113

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		1 伊庭の里湖(さとうみ)づくり事業 (伊庭の里湖づくり協議会への委託) ・ヨシ群落の保全 ヨシ刈り R5. 12. 16、ヨシ焼き R6. 2. 3 ・伊庭内湖周辺の清掃活動 ・外来魚の駆除活動 ・外来魚の駆除釣り大会 R5. 6. 11 雨天中止 ・特定外来水生植物の駆除活動 7回 駆除量1059. 5kg ・水鳥観察会の支援 R6. 2. 3 ・湖辺環境保全清掃活動 能登川漁業協同組合 4回 回収量 660kg 栗見プロジェクト 2 鈴鹿国定公園整備事業 ・鈴鹿国定公園内の登山道の整備 (永源寺地区まちづくり協議会に委託) ・永源寺集団施設地区内の園地の管理 (シルバー人材センターに委託) 3 生物多様性の取組 ・生物多様性調査の実施 R5. 10. 15 参加17人 ・特定外来植物の駆除 ・希少種保護活動 ・生物多様性保全の方針検討	1 伊庭の里湖(さとうみ)づくり事業 (伊庭の里湖づくり協議会への委託) ・ヨシ群落の保全 (ヨシ刈り、ヨシ焼き) ・伊庭内湖周辺の清掃活動 ・外来魚の駆除活動 ・特定外来水生植物の駆除活動 ・水鳥観察会の支援 ・湖辺環境保全清掃活動 2 鈴鹿国定公園整備事業 ・鈴鹿国定公園内の登山道の整備 (永源寺地区まちづくり協議会に委託) ・永源寺集団施設地区内の園地の管理 (シルバー人材センターに委託) 3 生物多様性の取組 ・生物多様性調査の実施 ・特定外来植物の駆除 ・希少種保護活動 ・生物多様性保全の方針検討	1 伊庭の里湖(さとうみ)づくり事業 (伊庭の里湖づくり協議会への委託) ・ヨシ群落の保全 (ヨシ刈り、ヨシ焼き) ・伊庭内湖周辺の清掃活動 ・外来魚の駆除活動 ・特定外来水生植物の駆除活動 ・水鳥観察会の支援 ・湖辺環境保全清掃活動 2 鈴鹿国定公園整備事業 ・鈴鹿国定公園内の登山道の整備 (永源寺地区まちづくり協議会に委託) ・永源寺集団施設地区内の園地の管理 (シルバー人材センターに委託) 3 生物多様性の取組 ・生物多様性調査の実施 ・特定外来植物の駆除 ・希少種保護活動 ・生物多様性保全の方針検討
指標の年度目標値	28. 0%	29. 5%	30. 0%	30. 5%
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	2, 615千円	2, 738千円		
	国庫支出金 0千円	国庫支出金 0千円		
	県支出金 0千円	県支出金 0千円		
	市債 0千円	市債 0千円		
その他 2, 310千円	その他 2, 310千円			
一般財源 305千円	一般財源 428千円			
職員数/人件費	正 1. 19人 会計任 0. 05人 7, 740千円	正 1. 14人 会計任 0. 05人 7, 701千円		

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 | 令和06年度の改善の取り組み | 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績 Do 2	29. 6%	Action 4	
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 伊庭の里湖づくり協議会では、外来魚駆除、特定外来水生植物の早期発見、早期駆除の取組やヨシ保全活動を行った。 鈴鹿国定公園整備事業では、国定公園の登山道の整備を永源寺地区まちづくり協議会に、集団施設地区内の園地の管理をシルバー人材センターに委託して実施した。 生物多様性の取組では、希少種について県や専門家と情報共有をしながら保護活動を行った。生物多様性保全の本市の方針の検討が必要である。	<改善内容> 環境保全活動や生物多様性調査を通して、自然環境に興味を持ってもらい、環境保全に関する人材を育成するために継続して活動する。 今後は県や専門家と情報共有をしながら保護活動を継続し、生物多様性保全の方針を検討していく。	事業の方向性 現状維持 ○ 財源 見直して継続 拡大 現状 ○ 縮小 削減 事業統合 手段見直 人員 拡大 現状 ○ 削減 休止・廃止 完了
			資源(財源・人)の配分
			事業の方向性と資源の配分の内容

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :02脱炭素社会の推進

事務事業名  
菜の花エコプロジェクト推進事業

指標名	再生可能エネルギー発電設備導入容量	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	92
指標の目標値	140,000kW	算出方法		○継続	ハード	担当課名	森と水政策課
関係法令 市条例等	東近江市あいとうエコプラザ菜の花館条例			関連計画	東近江市環境基本計画、東近江市バイオマスタウン構想、東近江市地域福祉計画	作成者	丸橋 裕一
事務事業概要	地域の活力を高め、環境と調和した資源循環型の地域づくりを進めるため、菜種の栽培から収穫、搾油、食用、廃食油回収、BDF精製活用という一連の地域内資源循環プロジェクト(菜の花エコプロジェクト)の推進を図ります。					予算	会計名
						大事業コード	060000
						款項目	020113

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	1 菜種の栽培委託 ・菜種栽培における播種面積や収穫等の調整 R5播種面積 15.62ha  2 菜の花館の管理運営(指定管理) ・菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜種の収穫、乾燥、搾油 ・廃食油回収とBDF精製、活用 ・視察、体験学習受入れ ・BDF燃料の利用拡大に向けた啓発 ・各種プラント設備修繕  Plan 1 (実績) Do 2 3 菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜の花エコプロジェクトの啓発、発信  4 菜の花館の修繕 ・雨漏れ修繕、炭化炉修繕、事務室入口ドア修繕	1 菜種の栽培委託 ・菜種栽培における播種面積や収穫等の調整  2 菜の花館の管理運営(指定管理) ・菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜種の収穫、乾燥、搾油 ・廃食油回収とBDF精製、活用 ・視察、体験学習受入れ ・BDF燃料の利用拡大に向けた啓発 ・各種プラント設備修繕  3 菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜の花エコプロジェクトの啓発、発信  4 もみがらくん炭Jクレ拡大モデル事業  5 菜の花館の修繕	1 菜種の栽培委託 ・菜種栽培における播種面積や収穫等の調整  2 菜の花館の管理運営(指定管理) ・菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜種の収穫、乾燥、搾油 ・廃食油回収とBDF精製、活用 ・視察、体験学習受入れ ・BDF燃料の利用拡大に向けた啓発 ・各種プラント設備修繕 ・菜の花館指定管理の更新事務  3 菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜の花エコプロジェクトの啓発、発信  4 もみがらくん炭Jクレ拡大モデル事業  5 菜の花館の修繕	1 菜種の栽培委託 ・菜種栽培における播種面積や収穫等の調整  2 菜の花館の管理運営(指定管理) ・菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜種の収穫、乾燥、搾油 ・廃食油回収とBDF精製、活用 ・視察、体験学習受入れ ・BDF燃料の利用拡大に向けた啓発 ・各種プラント設備修繕  3 菜の花エコプロジェクトの推進 ・菜の花エコプロジェクトの啓発、発信  4 もみがらくん炭Jクレ拡大モデル事業  5 菜の花館の修繕
指標の年度目標値	126,000kW	133,200kW	140,000kW	140,000kW
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	予算額		
	25,217千円	国庫支出金	0千円	
		県支出金	0千円	
		市債	0千円	
		その他	1,040千円	
一般財源	24,177千円			
職員数/人件費	正 0.6人 会計任 0.15人 4,200千円	正 0.63人 会計任 0.2人 4,486千円		

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 | 令和06年度の改善の取り組み | 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績 Do 2	132,401kw (R5.12現在)	Action 4	
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 環境学習拠点施設として関係機関に対し環境学習プログラムを実施した。 BDFの使用が依然として限定的であるため、BDFと廃食油を使用した発電システムの実証実験などを通じた使用拡大への取組が必要である。	<改善内容> 引き続き教育委員会やコミュニティセンターなどに効果的な環境学習の場を提供するため、事業の周知と学習プログラムの検討を行う。 BDF精製業者とも連携しながら、使用拡大のための施策を検討する。 もみがらくん炭の地域内活用とJクレジット化の推進を図る。	事業の方向性
			現状維持
			見直して継続
			拡大
			縮小
事業統合 手段見直			
休止・廃止			
完了			
資源(財源・人)の配分	財源	人員	
	拡大	拡大	
	現状	現状	
	削減	削減	
	拡大	拡大	
	現状	現状	
	削減	削減	
事業の方向性と資源の配分の内容			

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :02脱炭素社会の推進

事務事業名  
地球温暖化対策・再生可能エネルギー促進事業

指標名	再生可能エネルギー発電設備導入容量	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	206
指標の目標値	140,000kW	算出方法		○継続	ハード	担当課名	森と水政策課
関係法令 市条例等	地球温暖化対策の推進に関する法律、東近江市環境にやさしい暮らし普及促進奨励金支給要綱		関連計画	東近江市環境基本計画、東近江市次世代エネルギーパーク構想			
事務事業概要	地球温暖化対策を推進するため、「地球温暖化対策実行計画」を策定し、市が率先して取組を進めるとともに、低炭素型ライフスタイルの変革を促すよう身近な取組を通じた市民啓発を行います。			作成者	丸橋 裕一		
			予算	会計名	一般会計		
				大事業コード	070000		
				款項目	020113		

令和05年度 事務事業実績 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)  (実績)  Plan 1  Do 2	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 13件 ・コージェネレーションシステム設置奨励金15件 ・蓄電システム設置奨励金 67件 ・太陽熱温水器設置奨励金 5件  2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発 研修会 R5.5.18 (配信併用) 監査会 R6.2.1、R6.2.2 ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理  3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進  4 小水力発電促進モデル事業の支援  5 省エネ家電購入促進事業 93件	1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金  2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発  ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理 及び計画見直し  3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進	1 環境にやさしい暮らし普及促進事業 ・住宅用太陽光発電システム設置奨励金 ・コージェネレーションシステム設置奨励金 ・蓄電システム設置奨励金 ・太陽熱温水器設置奨励金  2 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』 ・公共施設のエネルギー等使用量の見える化 ・環境に配慮した事業推進の啓発  ・東近江市地球温暖化対策実行計画の進捗管理  3 地球温暖化防止活動の普及 ・電動アシスト自転車の活用推進 ・グリーン購入の推進
指標の年度目標値	126,000kW	133,200kW	140,000kW	140,000kW
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	11,246千円	5,153千円	
	国庫支出金	3,300千円	0千円	
	県支出金	0千円	0千円	
	市債	0千円	0千円	
	その他	7,000千円	4,000千円	
一般財源	946千円	1,153千円		
職員数/人件費	正 0.82人 会計任 0.38人	正 0.85人 会計任 0.5人	6,282千円	6,748千円

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価

指標の年度実績 Do 2	132,401kw (R5.12現在)	令和06年度の改善の取り組み Action 4	令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容  Check 3	<成果・課題> 環境にやさしい暮らし普及促進事業により再生可能エネルギー発電設備等の普及促進を図ることができた。 環境マネジメントシステム『エコ・すまいる』に全庁で取り組み、研修会や監査会等を通じて地球温暖化対策を推進した。目標値達成のため、DXによる二酸化炭素削減など、多角的な対策を検討する必要がある。	<改善内容> 再生可能エネルギーの導入や地球温暖化対策について情報収集を行い、地球温暖化対策実行計画への位置づけと本市における実施について検討する。	事業の方向性		
			現状維持	○ 財源	
			見直して継続	拡大	
			拡大	現状	○
			縮小	削減	
事業統合	人員				
手段見直					
休止・廃止	拡大				
	現状	○			
完了	削減				

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

○基本目標 :10戦略的な地域の創生	指 標 名 エコツアーの参加者数	指 標 成果指標一覧のとおり	新規 ○ 継続	○ ソフト ○ ハード	事務事業コード 45
○基本的政策 :02重点プロジェクトの推進					
○施策 :03森里川湖のつながり創生	関 係 法 令 市 条 例 等	自然環境保全法、自然公園法、生物多様性基本法、エコツーリズム推進法、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律、森林・林業基本法、森林法、道路運送法、旅行業法、東近江市民の豊かな環境と風土づくり条例、東近江市自然環境及び生物多様性の保全に関する条例			第2次東近江市環境基本計画 東近江市100年の森づくりビジョン 鈴鹿10座の保全・活用プラン
事務事業名 森里川湖のつながり創生事業	事務事業概要	鈴鹿山脈から琵琶湖まで継続的に人の手に加えられ維持されてきた森、里、川、湖といった多様性のある豊かな自然と人と自然の関わりの中で育まれてきた暮らしや生業、文化などの地域資源を将来世代に継承するため、100年先を見据えた森林づくりやエコツーリズムの推進、鈴鹿10座の保全活用など森里川湖のつながりをいかした取組を進めます。			
		関連計画		予 算 大 事 業 コード 020000 款 項 目 020113	一般会計

令和05年度 事務事業実績 / 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
		1 100年の森づくりビジョンの推進 ・地域ワークショップの開催 ・いきものの生息に配慮した森林づくり推進 ・森林・林業+X（エックス）プロジェクト推進  2 エコツーリズムの推進 ・エコツアーの認定 ・全体構想に基づくエコツアーの実施 ・森里川湖エコツーリズムガイドフォローアップ研修の実施 ・鈴鹿10座エコツーリズムガイド養成講座の実施 ・びわ湖東近江SEA TO SUMMITの開催  3 鈴鹿10座の保全・活用 ・登山道の巡視及び整備 ・鈴鹿10座ビジターセンターの運営 登山者相談 ・登山者駐車場等整備の検討  4 流域政策 ・愛知川内水面漁業振興協議会への参画 ・地下水等勉強会の開催	1 100年の森づくりビジョンの推進 ・100年の森づくりビジョンの改定 ・100年の森づくり会議の開催 ・地域ワークショップの開催 ・いきものの生息に配慮した森林づくり推進 ・森林・林業+X（エックス）プロジェクト推進  2 エコツーリズムの推進 ・エコツアーの認定 ・全体構想に基づくエコツアーの実施 ・森里川湖エコツーリズムガイド養成講座の実施 ・鈴鹿10座エコツーリズムガイドフォローアップ研修の実施 ・びわ湖東近江SEA TO SUMMITの開催  3 鈴鹿10座の保全・活用 ・登山道の巡視及び整備 ・鈴鹿10座ビジターセンターの整備・運営 登山者相談 ・登山者駐車場等整備の検討  4 流域政策 ・愛知川内水面漁業振興協議会への参画 ・地下水等勉強会の開催	1 100年の森づくりビジョンの推進 ・100年の森づくり会議の開催 ・地域ワークショップの開催 ・いきものの生息に配慮した森林づくり推進 ・森林・林業+X（エックス）プロジェクト推進  2 エコツーリズムの推進 ・エコツアーの認定 ・全体構想に基づくエコツアーの実施 ・森里川湖エコツーリズムガイドフォローアップ研修の実施 ・鈴鹿10座エコツーリズムガイドフォローアップ研修の実施 ・びわ湖東近江SEA TO SUMMITの開催  3 鈴鹿10座の保全・活用 ・登山道の巡視及び整備 ・鈴鹿10座ビジターセンターの運営 登山者相談 ・登山者駐車場等整備  4 流域政策 ・愛知川内水面漁業振興協議会への参画 ・地下水等勉強会の開催
指標の年度目標値	1,000人	1,500人	2,100人	2,100人
事業の優先度	A	A		
事業の財源	決算額	14,506千円	20,399千円	
	国庫支出金	817千円	2,000千円	
	県支出金	0千円	0千円	
	市債	0千円	0千円	
	その他	9,216千円	12,770千円	
一般財源	4,473千円	5,629千円		
職員数/人件費	正 2.9人 会計任 0.8人	正 2.8人 会計任 0.8人		

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 / 令和06年度の改善の取り組み / 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績 Do 2	319人	Action 4																							
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> (成果) 100年の森づくりビジョンに基づき地域ワークショップを開催した。 エコツーリズム推進全体構想に基づき鈴鹿10座エコツーリズムガイド認定を実施した。 鈴鹿10座の保全活用プランに基づき登山者向け看板の設置やビジターセンターの運営を実施した。 SEA TO SUMMITを開催した。 (課題) ビジョンに基づく各種施策展開を図っていく。	<改善内容> 100年の森づくりビジョン推進のための仕組み展開 エコツーリズム推進全体構想に基づく実効性確保のための仕組み運用 鈴鹿10座の保全活用プランに基づく体制づくりの推進	<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td>財源</td> <td rowspan="5">令和7年度～ バイオトイレ・駐車場整備による事業費の増</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">見直して継続</td> <td>拡大</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合 手段見直</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	財源	令和7年度～ バイオトイレ・駐車場整備による事業費の増	見直して継続	拡大	○	縮小		事業統合 手段見直		休止・廃止	人員	拡大	完了	現状	○		削減	
	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																						
	現状維持	財源	令和7年度～ バイオトイレ・駐車場整備による事業費の増																						
	見直して継続	拡大		○																					
		縮小																							
事業統合 手段見直																									
休止・廃止	人員	拡大																							
完了	現状	○																							
	削減																								

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :03し尿の適正管理

事務事業名  
汚水処理対策事業

指標名	特定地域における浄化槽法定検査（法第11条）受検率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	226
指標の目標値	92.4%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	生活環境課
関係法令 市条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法 快適で衛生的な生活を営むため、処理施設組合に負担金を支出し、し尿の適正処理と環境衛生の保全を図ります。			関連計画	湖東地域一般廃棄物処理基本計画（ごみ・生活排水）、東近江市生活排水処理基本計画（生活排水）		
事務事業概要					予算	会計名	一般会計
						大事業コード	050000
						款項目	040201

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
		1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合	1 し尿及び浄化槽汚泥処理に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合					
	2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・八日市布引ライフ組合 し尿処理量 4,154k1 浄化槽汚泥処理量 15,657k1	2 し尿・浄化槽汚泥収集 ・八日市布引ライフ組合						
	3 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置への補助 0基	3 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 ・住宅用合併処理浄化槽設置への補助						
	4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助 11地区 402基	4 合併処理浄化槽維持管理費補助金 ・集落単位の合併処理浄化槽管理への補助						
	5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上 11条検査受検率 39.9%	5 合併浄化槽の法定検査受検率の向上						
	6 浄化槽台帳の整備 浄化槽台帳システムのデータ更新	6 浄化槽台帳の整備						
	7 浄化槽関連の届出の受理 4件	7 浄化槽関連の届出の受理	8 生活排水基本計画の見直し					
指標の年度目標値	92.0%		92.2%		92.4%		92.6%	
事業の優先度	B		B					
事業の財源	決算額 295,226千円	国庫支出金	0千円	予算額 295,274千円	国庫支出金	1,298千円		
		県支出金	4,020千円		県支出金	4,826千円		
		市債	0千円		市債	0千円		
		その他	0千円		その他	0千円		
		一般財源	291,206千円		一般財源	289,150千円		
職員数/人件費	正 0.83人 会計任 0人	5,809千円	正 0.99人 会計任 0人	6,550千円				

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 | 令和06年度の改善の取り組み | 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	39.9%	令和06年度の改善の取り組み	Action 4	令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分					
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 浄化槽台帳システムの更新作業を効率よく正確に行う為に、保守点検や清掃情報のデータ処理方法の検討を行った。法定検査や保守点検の情報を基に更新を行い、浄化槽台帳の精度を上げた。		<改善内容> 浄化槽の更新情報の件数が多く、浄化槽台帳システムへの入力事務の効率化が必要である。浄化槽の適正管理につながる様、啓発方法の検討し法定検査受検率を向上させる必要がある。		事業の方向性		資源(財源・人)の配分			
					現状維持		○ 財源		事業の方向性と資源の配分の内容 拡大 現状 削減 人員 拡大 現状 削減	
					見直しして継続					
					拡大					
					縮小					
事業統合 手段見直し										
休止・廃止										
完了										

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :04公害防止対策の推進

<b>事務事業名</b> 環境調査事業	<b>事務事業概要</b> 良好な生活環境を確保するため、「東近江市民の生活環境保全及び公害防止に関する条例」に基づき、河川や大気などの生活環境を調査し、事業者や市民への啓発を行います。	<b>指標名</b> 公害苦情件数	<b>指標</b> 成果指標一覧のとおり	<b>新規</b> <input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> ソフト <input type="radio"/> ハード	<b>事務事業コード</b> 441
		<b>指標の目標値</b> 160件 目標年（令和07年度）	<b>算出方法</b>			<b>担当課名</b> 生活環境課
		<b>関係法令 市条例等</b> 東近江市の豊かな環境と風土づくり条例、東近江市民の生活環境保全及び公害防止に関する条例、騒音規制法・振動規制法・悪臭防止法	<b>関連計画</b>		<b>作成者</b> 西直樹	
		<b>予算</b>			<b>会計名</b> 一般会計 <b>大業コード</b> 080000 <b>款項目</b> 020113	

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	1 環境調査業務 ・河川水質調査 40地点12箇月実施 悪臭検査 2回 2 公害発生源調査 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 161件 3 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・工場等への環境法令遵守状況調査及び立入調査 24件 4 自動車騒音の常時監視 3路線18.7Km 5 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 153件 6 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 76件 7 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結 0件	1 環境調査業務 ・河川水質調査、悪臭検査 2 公害発生源調査 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 3 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査 4 自動車騒音の常時監視 5 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 6 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 7 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結	1 環境調査業務 ・河川水質調査、悪臭検査 2 公害発生源調査 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 3 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査 4 自動車騒音の常時監視 5 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 6 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 7 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結	1 環境調査業務 ・河川水質調査、悪臭検査 2 公害発生源調査 騒音・振動規制法に基づく届出審査、受理 3 工場の監視、パトロール、指導、対策 ・特定工場への合同立入調査 4 自動車騒音の常時監視 5 公害や生活環境の苦情に対する確認と対処 6 市公害防止条例に基づく届出の審査受理 7 公害防止、緑地の確保等に関する協定の締結
<b>指標の年度目標値</b> 166件 <b>事業の優先度</b> B	166件 B	163件 B	160件	157件
<b>事業の財源</b> 23,766千円	決算額 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 23,766千円	予算額 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 市債 0千円 その他 0千円 一般財源 27,386千円		
<b>職員数/人件費</b>	正 1.06人 会計任 0人 6,797千円	正 1.14人 会計任 0人 7,450千円		

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 | 令和06年度の改善の取り組み | 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

<b>指標の年度実績</b> Do 2 153件	<b>令和06年度の改善の取り組み</b> Action 4	<b>令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分</b>		
<b>事務事業の改善内容</b> Check 3 <成果・課題> 公害苦情に関し、原因者への指導により一定の効果があつた。長期的な苦情案件の進展が課題である。	<改善内容> 苦情主及び原因者双方が、納得のいくような指導を行う。	<b>事業の方向性</b>	<b>資源(財源・人)の配分</b>	<b>事業の方向性と資源の配分の内容</b>
		現状維持	<input type="radio"/> 財源	拡大 現状 削減
		見直して継続	拡大 現状 削減	
		事業統合 手段見直	人員	
休止・廃止	拡大 現状 削減			
完了				

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :05斎場・墓地の適正管理

事務事業名  
斎場・墓地管理運営事業

指標名	市営墓地の維持管理に係る改善要望件数	指標	-	新規	○ソフト	事務事業コード	408
指標の目標値	0件	算出方法	-	○継続	ハード	担当課名	生活環境課
関係法令 市条例等	墓地・埋葬等に関する法律	関連計画	-	-	-	作成者	西直樹
事務事業概要	火葬施設の管理運営をする組合に負担金を支出し、施設の適切な管理運営を図ります。					予算	会計名 一般会計
						大事業コード	010000
						款項目	040105

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度			
	1 斎苑（火葬場）管理運営に係る負担金 ・八日市布引ライフ組合  2 墓地の管理 ・布引山霊苑（瓜生津町：全923区画）新規11件 ・能登川墓地公園（佐野町：全720区画）新規4件  3 公共事業等により移転又は設置した墓地の維持管理に関する支援 ・布引山霊苑一般墓地（峠墓地）  4 墓地等経営許可事務 2件  Plan 1  (実績)  Do 2	1件		0件		0件		0件		
指標の年度目標値	1件		0件		0件		0件			
事業の優先度	-		-		-		-			
事業の財源	決算額 59,418千円	国庫支出金	0千円		予算額 63,790千円	国庫支出金	0千円			
		県支出金	0千円			県支出金	0千円			
		市債	0千円			市債	0千円			
		その他	9,541千円			その他	10,334千円			
		一般財源	49,877千円			一般財源	53,456千円			
職員数/人件費	正	0.99人	会計任	0.06人	6,246千円	正	1.13人	会計任	0.03人	7,327千円

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	0件	令和06年度の改善の取り組み	Action 4	令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 市営墓地敷地内の修繕や駐車場区画の整備を行い、適正な維持管理を行った。 未承継の墓地利用者については、追跡調査を行い、承継を促すとともに、返還のあった墓地は再募集により墓地需要に応えた。		<改善内容> 市営墓地の適正な維持管理を行い、未承継墓地の承継を促しながら、返還のあった区画について、利用者の再募集を行う。 焼骨収蔵届の啓発を行い、未提出の抑制につながる方法を検討する。		事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
					現状維持	○ 財源	
					見直して継続	拡大	
					拡大	現状	
					縮小	削減	
				事業統合 手段見直	人員		
				休止・廃止	拡大		
				完了	現状		
					削減		

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :07環境への負荷を軽減するまちをつくります

- 施策 :06狂犬病予防対策の推進

事務事業名 狂犬病予防事業	指標名	狂犬病予防注射接種率	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	453
	指標の目標値	64.0%	算出方法		○継続	ハード	担当課名	生活環境課
	関係法令 市条例等	狂犬病予防法、滋賀県動物の保護及び管理に関する条例			関連計画	-	作成者	西直樹
	事務事業概要	狂犬病の発生を予防するため、犬の登録と予防注射を行います。また、正しい犬の飼い方等について、飼い主へ啓発し、糞害の防止等を図ります。					予算	会計名
				大業コード			020000	
						款項目	040105	

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和05年度		令和06年度		令和07年度		令和08年度	
	1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 486頭 ・狂犬病予防注射実施 4,083頭  2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布 23件42枚	1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 486頭 ・狂犬病予防注射実施 4,083頭  2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布 23件42枚		1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施  2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布		1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施  2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布		1 畜犬登録、狂犬病予防注射事業 ・犬の新規、変更登録 ・狂犬病予防注射実施  2 動物の飼養に伴う周辺の生活環境の保全 ・糞害防止看板の自治会への配布
指標の年度目標値 事業の優先度 事業の財源 職員数/人件費	62% B 2,543千円 正 1.42人 会計任 0.03人 8,077千円		63% B 2,726千円 正 1.75人 会計任 0.03人 10,536千円		64%		65%	

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 | 令和06年度の改善の取り組み | 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績 Do 2	56%	Action 4	令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分		
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> 犬の糞害に関する啓発として、自治会での看板設置の推奨、狂犬病予防集合注射会場で啓発看板を設置し周知を行った。 狂犬病予防注射接種率を更に向上する必要がある。	<改善内容> 犬の飼養方法に関する苦情に対し、県動物保護管理センターと連携し啓発指導を行う。 オンライン申請により利用者の利便性を向上させる。 犬の死亡届の啓発を適宜行い、更なる台帳整備を行うことで狂犬病予防注射接種率の向上を図る。	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容
			現状維持	○ 財源	拡大 現状 ○ 削減  人員 拡大 現状 ○ 削減
			見直して継続		
			拡大		
			縮小		
事業統合 手段見直		休止・廃止			
完了					

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :05資源循環型社会への意識の高いまちをつくります
- 施策 :01環境美化の推進

事務事業名  
美化推進対策事業

指標名	清掃美化活動の参加者数	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	1
指標の目標値	1,000人	算出方法		○継続	ハード	担当課名	資源再生推進課
関係法令 市条例等	東近江市の豊かな環境と風土づくり条例、東近江市自然環境及び生物多様性の保全に関する条例、東近江市生活環境保全及び公害防止に関する条例、東近江市廃棄物の処理及び環境の美化に関する条例、東近江市廃棄物不法投棄監視員要綱			東近江市環境基本計画、東近江市地域福祉計画	関連計画	作成者	五十子 又一
事務事業概要	市民環境活動団体の活動を支援することにより、地域の環境美化の推進や地球温暖化防止に関する市民の意識の高揚を図ります。また、環境リーダーを養成することにより、環境啓発や環境教育活動の推進を図ります。					予算	会計名
						大事業コード	020000
						款項目	040201

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画)	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度
	1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール 不法投棄監視員 34人 通報件数 59件  2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施 実施日数 902日 ・永源寺地区夏季パトロールの強化 実施日数 46日  3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援 5/28 ごみゼロ大作戦 和南川河川敷 7/4 びわ湖の日 能登川漁協漁港周辺 12/1 環境美化の日 布引体育館周辺  4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの設置 ・市ホームページでの啓発	1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール  2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施  ・永源寺地区夏季パトロールの強化  3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援  4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの設置 ・市ホームページでの啓発	1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール  2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施  ・永源寺地区夏季パトロールの強化  3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援  4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの設置 ・市ホームページでの啓発	1 廃棄物不法投棄監視員の設置 ・各地区の不法投棄のパトロール  2 環境美化推進員によるパトロール ・シルバー人材センターに委託し、散乱ごみの回収と啓発活動を実施  ・永源寺地区夏季パトロールの強化  3 ボランティア、自治会のごみ回収取組支援  4 美化推進に係る啓発及びポイ捨て対策 ・不法投棄禁止看板の設置 ・不法投棄監視カメラの設置 ・市ホームページでの啓発
指標の年度目標値	800人	900人	1,000人	1,000人
事業の優先度	B	B		
事業の財源	決算額	18,971千円	20,560千円	
	国庫支出金	0千円	0千円	
	県支出金	3,310千円	2,801千円	
	市債	0千円	0千円	
	その他	172千円	0千円	
職員数/人件費	正 2.4人 会計任 0.62人	正 2.19人 会計任 0.23人		

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価 | 令和06年度の改善の取り組み | 令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分

指標の年度実績	Do 2	304人	Action 4	
事務事業の改善内容	<b>&lt;成果・課題&gt;</b> 環境美化の日を基準とする県下一斉清掃活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための制限をなくし、コロナ以前の規模で実施した。道路や河川等の散乱ごみを清掃することにより、環境美化に対する市民の関心と理解を深めることができた。 不法投棄の未然防止及び早期発見のため、不法投棄監視員や環境美化推進員によるパトロールを実施するとともに、不法投棄が多発している箇所へ監視カメラを設置した。 悪質な不法投棄は後を絶たない状況にあるが、行為者を特定することは困難である。		<b>&lt;改善内容&gt;</b> 悪質な不法投棄に対応するため、多発している箇所へのパトロールを強化するとともに、滋賀県及び東近江警察署と連携して不法投棄の防止に取り組む。 監視カメラは行為者を特定だけでなく、設置による抑止効果も期待できるため、今後も引き続き設置する。	
	<b>Check 3</b>		<b>事業の方向性</b>	<b>資源(財源・人)の配分</b>
			現状維持 ○	財源
			見直して継続	拡大 現状 ○ 削減
			拡大 縮小 事業統合 手段見直	人員
		休止・廃止	拡大 現状 ○ 削減	
		完了		

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- 基本目標 :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- 基本的政策 :05資源循環型社会への意識の高いまちをつくります

- 施策 :02ごみの適正処理

事務事業名  
廃棄物処理対策事業

指標名	市民一人当たりのごみ量	指標	成果指標一覧のとおり	新規	○ソフト	事務事業コード	63
指標の目標値	780g/1日	算出方法		○継続	ハード	担当課名	資源再生推進課
関係法令 市条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東近江市ごみステーション設置補助金交付要綱、東近江市廃棄物の処理及び環境の美化に関する条例、東近江市一般廃棄物最終処分場条例、東近江市一般廃棄物処理手数料の免除に関する要綱			関連計画	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画、東近江市一般廃棄物処理実施計画、東近江市災害廃棄物処理計画、東近江市地域福祉計画	作成者	五十子 又一
事務事業概要	廃棄物が適正に処理できるよう、ごみ袋の販売やカレンダー・ガス抜き器具の配布、また分別収集や集団回収を実施します。					予算	会計名 一般会計
						大事業コード	030000
						款項目	040201

令和05年度 事務事業実績 / 令和06年度 実施計画

令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度																									
<p>主な事業内容 (年次計画) Plan 1 (実績) Do 2</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>家庭ごみ等の収集                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集・運搬（委託・許可業者）</li> <li>・粗大ごみの有料収集 821件 2,149点</li> <li>・危険物回収及び処理 0.59t</li> </ul> </li> <li>ごみ処理関係品の作成・販売等                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の作成と販売</li> <li>・ごみカレンダーの作成</li> </ul> </li> <li>犬猫等死骸処理 263件</li> <li>広域行政での事業推進に係る負担金                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部清掃組合</li> <li>・愛知郡広域行政組合</li> </ul> </li> <li>ごみステーション設置・修繕支援 新設 8件 修繕 10件</li> <li>最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町) 搬入量 75.3t</li> <li>小型家電リサイクルの実施 回収量 13.63t</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>家庭ごみ等の収集                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集・運搬（委託・許可業者）</li> <li>・粗大ごみの有料収集</li> <li>・危険物回収及び処理</li> </ul> </li> <li>ごみ処理関係品の作成・販売等                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の作成と販売</li> <li>・ごみカレンダーの作成</li> </ul> </li> <li>犬猫等死骸処理</li> <li>広域行政での事業推進に係る負担金                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部清掃組合</li> <li>・愛知郡広域行政組合</li> </ul> </li> <li>ごみステーション設置・修繕支援</li> <li>最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町)</li> <li>小型家電リサイクルの実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>家庭ごみ等の収集                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集・運搬（委託・許可業者）</li> <li>・粗大ごみの有料収集</li> <li>・危険物回収及び処理</li> </ul> </li> <li>ごみ処理関係品の作成・販売等                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の作成と販売</li> <li>・ごみカレンダーの作成</li> </ul> </li> <li>犬猫等死骸処理</li> <li>広域行政での事業推進に係る負担金                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部清掃組合</li> <li>・愛知郡広域行政組合</li> </ul> </li> <li>ごみステーション設置・修繕支援</li> <li>最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町)</li> <li>小型家電リサイクルの実施</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>家庭ごみ等の収集                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ収集・運搬（委託・許可業者）</li> <li>・粗大ごみの有料収集</li> <li>・危険物回収及び処理</li> </ul> </li> <li>ごみ処理関係品の作成・販売等                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ袋の作成と販売</li> <li>・ごみカレンダーの作成</li> </ul> </li> <li>犬猫等死骸処理</li> <li>広域行政での事業推進に係る負担金                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部清掃組合</li> <li>・愛知郡広域行政組合</li> </ul> </li> <li>ごみステーション設置・修繕支援</li> <li>最終処分場施設の維持管理(五個荘日吉町)</li> <li>小型家電リサイクルの実施</li> </ol>																									
指標の年度目標値	790g/1日	785g/1日	775g/1日																									
事業の優先度	A	A																										
事業の財源	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td rowspan="4">1,666,071千円</td><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>50,600千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,615,471千円</td></tr> </table>	決算額	国庫支出金	0千円	1,666,071千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	50,600千円	一般財源	1,615,471千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td rowspan="4">1,691,977千円</td><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>60,324千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>1,631,653千円</td></tr> </table>	予算額	国庫支出金	0千円	1,691,977千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	60,324千円	一般財源	1,631,653千円		
決算額	国庫支出金	0千円																										
1,666,071千円	県支出金	0千円																										
	市債	0千円																										
	その他	50,600千円																										
	一般財源	1,615,471千円																										
予算額	国庫支出金	0千円																										
1,691,977千円	県支出金	0千円																										
	市債	0千円																										
	その他	60,324千円																										
	一般財源	1,631,653千円																										
職員数/人件費	正 4.33人 会計任 0.67人 25,771千円	正 3.28人 会計任 0.89人 21,707千円																										

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価

指標の年度実績	Do 2	759g/1日	令和06年度の改善の取り組み	Action 4	令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分																								
事務事業の改善内容 Check 3	<成果・課題> カセットボンベやスプレー缶、使い捨てライターなどの危険物回収について、市役所本庁・支所窓口で回収を行う体制を取ることで、ごみカレンダーなどで丁寧に周知を行うことで、家庭ごみ収集におけるごみ収集車の火災事故を防止した。さらに市民にとってもより排出しやすい環境を整えるとともに、一層の啓発をイベントなどを通じて行った。		<改善内容> リチウムイオン充電電池などの二次電池回収について、市役所本庁・支所窓口で回収を行う体制を構築する。このことについて市広報紙などで丁寧に周知を行うことで、家庭ごみ収集におけるごみ収集車や清掃施設の火災事故防止につなげる。		<table border="1"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th>資源(財源・人)の配分</th> <th>事業の方向性と資源の配分の内容</th> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td rowspan="2">財源</td> <td>令和7年度以降 ・中部清掃組合ごみ処理施設の大規模修繕及び機械器具定期更新に伴う負担金の増 ・大阪湾広域処理場整備事業負担金の増</td> </tr> <tr> <td>見直しして継続</td> <td>拡大 ○</td> </tr> <tr> <td>拡大 ○</td> <td rowspan="2">人員</td> <td>現状</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td rowspan="2">拡大 ○</td> <td>削減</td> </tr> <tr> <td>手段見直し</td> <td>現状 ○</td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容	現状維持	財源	令和7年度以降 ・中部清掃組合ごみ処理施設の大規模修繕及び機械器具定期更新に伴う負担金の増 ・大阪湾広域処理場整備事業負担金の増	見直しして継続	拡大 ○	拡大 ○	人員	現状	縮小	削減	事業統合	拡大 ○	削減	手段見直し	現状 ○	休止・廃止	削減		完了		
	事業の方向性	資源(財源・人)の配分	事業の方向性と資源の配分の内容																										
	現状維持	財源	令和7年度以降 ・中部清掃組合ごみ処理施設の大規模修繕及び機械器具定期更新に伴う負担金の増 ・大阪湾広域処理場整備事業負担金の増																										
	見直しして継続		拡大 ○																										
拡大 ○	人員	現状																											
縮小		削減																											
事業統合	拡大 ○	削減																											
手段見直し		現状 ○																											
休止・廃止	削減																												
完了																													

東近江市総合計画

～まちづくりの森を育てよう～

令和06年度 実施計画

令和05年度 事務事業評価

- **基本目標** :05誰もが輝き快適な生活環境が整うまち
- **基本的政策** :05資源循環型社会への意識の高いまちをつくります
- **施策** :03循環型社会の構築

**事務事業名**  
**廃棄物減量化推進事業**

<b>指標名</b>	ごみのリサイクル率	<b>指標</b>	成果指標一覧のとおり	<b>新規</b>	○ <b>ソフト</b>	<b>事務事業コード</b>	2
<b>指標の目標値</b>	13.9%	<b>算出方法</b>		○ <b>継続</b>	<b>ハード</b>	<b>担当課名</b>	資源再生推進課
<b>関係法令市条例等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、東近江市生ごみ処理容器購入補助金交付要綱、東近江市リサイクル促進補助金交付要綱			<b>関連計画</b>	東近江市生ごみ等リサイクル基本方針	<b>作成者</b>	五十子 又一
<b>事務事業概要</b>	ごみの減量化と循環型社会の構築をめざし、資源回収、生ごみ減量に対する取組を推進するとともに、市民の活動を支援します。					<b>会計名</b>	一般会計
						<b>大事業コード</b>	040000
						<b>款項目</b>	040201

令和05年度 事務事業実績 | 令和06年度 実施計画

主な事業内容 (年次計画) <b>Plan 1</b> (実績) <b>Do 2</b>	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度																								
		1 資源回収、資源分別活動の推進 2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及講習会の開催 51回 ダンボールコンポストの販売 835個 3 生ごみ処理容器購入に対する補助 59件 4 古紙等の資源回収に対する補助 156件 5 廃棄物減量等推進審議会 6 エコフリーマーケットの開催支援 10/29 市役所新館駐車場 7 食品ロス削減の啓発	1 資源回収、資源分別活動の推進 2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及 3 生ごみ処理容器購入に対する補助 4 古紙等の資源回収に対する補助 5 廃棄物減量等推進審議会 6 エコフリーマーケットの開催支援 7 食品ロス削減の啓発	1 資源回収、資源分別活動の推進 2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及 3 生ごみ処理容器購入に対する補助 4 古紙等の資源回収に対する補助 5 廃棄物減量等推進審議会 6 エコフリーマーケットの開催支援 7 食品ロス削減の啓発	1 資源回収、資源分別活動の推進 2 生ごみ減量化、堆肥化の推進 ・市内の先進的取組団体へ委託し、市民向け講習会及び研修会を実施 ・市民アドバイザーの養成 ・ダンボールコンポストの普及 3 生ごみ処理容器購入に対する補助 4 古紙等の資源回収に対する補助 5 廃棄物減量等推進審議会 6 エコフリーマーケットの開催支援 7 食品ロス削減の啓発																							
<b>指標の年度目標値</b>	12.4%	13.1%	13.9%	13.9%																								
<b>事業の優先度</b>	B	B																										
<b>事業の財源</b>	<table border="1"> <tr><td>決算額</td><td>4,163千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>4,163千円</td></tr> </table>	決算額	4,163千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	4,163千円	<table border="1"> <tr><td>予算額</td><td>5,298千円</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>市債</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0千円</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>5,298千円</td></tr> </table>	予算額	5,298千円	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	市債	0千円	その他	0千円	一般財源	5,298千円		
決算額	4,163千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	4,163千円																											
予算額	5,298千円																											
国庫支出金	0千円																											
県支出金	0千円																											
市債	0千円																											
その他	0千円																											
一般財源	5,298千円																											
<b>職員数/人件費</b>	正 2.76人 会計任 0.3人 17,134千円	正 2.41人 会計任 0.13人 14,816千円																										

評価

改善

方向性

令和05年度 事務事業評価

<b>指標の年度実績</b>	Do 2	8.3%	<b>令和06年度の改善の取り組み</b>	Action 4	<b>令和07年度以降の事業の方向性と資源の配分</b>																															
<b>事務事業の改善内容</b> <b>Check 3</b>	<b>&lt;成果・課題&gt;</b> エコフリーマーケットやパソコン周辺機器の回収イベントを開催することにより、ごみの減量及びリサイクルの取組を啓発することができた。 ダンボールコンポストを用いた生ごみの堆肥化を推進するため、今年度は市内の全てのコミュニティセンターで講習会を開催し、多くの市民にコンポストを普及させるとともに、生ごみの減量を啓発することができた。 リサイクルできる資源ごみの分別が徹底されていないため、分別方法を分かりやすく周知する必要がある。		<b>&lt;改善内容&gt;</b> ごみの減量及びリサイクルは、市民一人一人の意識の向上が重要であるため、家庭で実践できるごみの減量の取組を、広報紙や市ホームページ等様々な情報媒体を活用して積極的に周知する。		<b>事業の方向性</b>																															
					<b>資源(財源・人)の配分</b>																															
					<b>事業の方向性と資源の配分の内容</b>																															
					<table border="1"> <tr> <td>現状維持</td> <td>○</td> <td>財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見直して継続</td> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業統合</td> <td></td> <td>人員</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手段見直</td> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> <tr> <td>休止・廃止</td> <td></td> <td>現状</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>完了</td> <td></td> <td>削減</td> <td></td> </tr> </table>	現状維持	○	財源		見直して継続		拡大		拡大		現状	○	縮小		削減		事業統合		人員		手段見直		拡大		休止・廃止		現状	○	完了		削減
現状維持	○	財源																																		
見直して継続		拡大																																		
拡大		現状	○																																	
縮小		削減																																		
事業統合		人員																																		
手段見直		拡大																																		
休止・廃止		現状	○																																	
完了		削減																																		